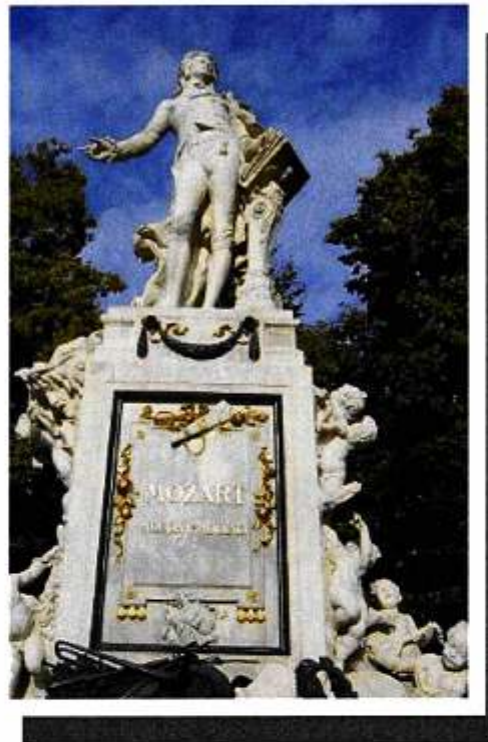


横須賀・三浦 放射線技師会報

- 巻頭言
 - 「種子島と屋久島」
 - 「速飯で思うこと」
 - 「東南アジア旅行記」
 - 施設紹介 「浦賀病院」「横須賀共済病院」
- 副会長 服部 祐治
新倉 政和
千葉 一
橋爪由美子



No.86

Vol-29-No. 2 20. Nov. 2003

発行・横須賀三浦放射線技師会広報

もくじ

- 巻頭言 1
- 「屋久島と種子島」新倉政和 2
- 「速飯で思うこと」千葉 一 4
- 「東南アジア旅行」橋爪由美子 6
- 施設紹介「浦賀病院」 8
- 施設紹介「横須賀共済病院」 12
- 被ばく医療対策検討会報告 14
- 地区委員会報告 17
- ゴルフコンペ報告 20
- 第1回CR勉強会報告 21
- 学術部活動報告 22
- YMBIT「ホームページの紹介」 24

—表紙写真—
衣笠病院 千葉 一
ウィーンのもーツアルト記念像

巻頭言



挑戦！己を知る

副会長 服部 祐治

日本リーグからアメリカンリーグに果敢に挑み、大活躍されているプロ野球選手に、いまや日本中の関心が集まりその活躍に一喜一憂している。その中で、今年入団したニューヨークヤンキースの松井選手はワールドシリーズに出場が決定したが、もし、ワールドシリーズに優勝すると日本人初の快挙となり未来永劫、大リーグの野球史に名を残すことと思われ、同じ日本人として遠く離れてはいるが大きな声援を送りたいものである。

場所を当技師会に移してみると、この8月から10月に開催された講習会に果敢に挑戦した方々がいる。かく言う私もその中の一人であるが、日本放射線技師会主催の放射線管理士と、放射線機器管理士の講習会が県技師会により鶴見大学歯学部付属病院の講堂で開催され、両方の講習会と資格試験の二兎を一挙に追うことが出来ると聞き、受講者は200名を越え、開催した県技師会でも予想以上の参加者に戸惑い気味であった。

受講する会員にとっては、土曜日と日曜日に鶴見まで通う夏の講習会であり、夏の暑さや少しズレた講演内容などに体力、気力、睡魔との戦いがあったが、一人の脱落者を出すことも無く講習会が終了し、後は12月7日に行われる認定試験に挑むだけである。

分厚いテキスト、講習会で配布された資料などなど、まだまだ認定試験への戦いは続くが、挑戦し己を知ることが大事と思われる。

過去、多くの日本人が大リーグに挑み、名を連ねることなく消え去った選手も多いと聞くが、果敢に挑戦し自分を試し、己の技量を知りアメリカンドリームをつかんだ人々はほんの一部である。私たちの挑戦した認定試験も難度が高く合格率は低いと聞いているが、参加した以上は合格し技師会の歴史に名を残したいものである。

夏休み旅行記①

屋久島と種子島

横須賀共済病院 新倉政和



6月の中ごろ、屋久島と種子島へ旅してきた。羽田からまずは鹿児島へフライト。鹿児島からはローカル線YS-11で種子島へ向かう。プロペラ機のため雲をぬうように飛ぶ。うまい具合に雲をすりぬけていく。いよいよ種子島空港が見えた。着陸、何どうしたの、機体が滑走路上でいきなりUターンした。そのまま逆走をはじめた。小さな空港のため誘導路がなかったのだ。他の飛行機は1機もない。飛行機から降りるとすぐターミナルだ。

ここからは観光バスによる旅になる。種子島は細長く平らな島だ。最高点で250メートルほど。明日の予定の屋久島は丸く高い島だ。洋上アルプスといわれるほどで、九州地方の最高峰があるほどだ。ここ種子島は古くから鉄砲伝来で有名だ。あの火縄銃「種子島」鉄砲伝来博物館には、数々の火縄銃が展示されていた。また、ロケットの発射センターがあり、H2-Aロケット等の実物大模型が展示されている。ロケット発射の瞬間のビデオでものすごい音響に圧倒された。NHKの朝の連続ドラマ「まんてん」の撮影場所があちこちにみられた。島には信号が2ヶ所ある。1つはほとんど作動したことがないという。島の子供たちが本土に出たとき信号がわからないと困るからという理由で作られたものらしい。もう1つは島の銀座の三叉路にある。こちらは点滅。のどかな島だ。宿泊は温泉ホテルの別館。えっ！！どこにあるの。道路を挟んで反対側、それらしい建物は見当たらない。もしかしてあのアパートみたいなのかな？正解！！でもこんな経験初めて。風呂は本館脇にある日帰り温泉もやっている別棟だ。入浴券をもらって入りに行く。酒は近所のコンビニ？ 無い！お店が無い。仕方が無いので本館の売店で用をたすことにした。

翌日、屋久島に渡るため、港に向かう。船はジェット船だ。屋久島まで45分。横には種子島が長ーく横たわっている。いよいよ屋久島に上陸だ。むちゃくちゃ暑い。気温は有に30度を超えている。バスは冷房が効いていて気持ちがいい。最初に屋久杉自然館に案内された。ここには屋久杉についてのいろいろなことがわかるようになっている。屋久杉とは樹齢1000年以上のものをいい、それ以外を小杉と呼ぶそう。現在最長寿が縄文杉といい樹齢7000年を超えている。今回の旅はこの縄文杉を見に行く計画は無い。縄文杉を見るには往復10時間ほどの登山が必要なためだ。屋久島は非常に高い山が連なり、その標高差が丁度日本列島の北海道から九州のそれと同じになるらしい。そのため冬になると山頂は雪に覆われるという。

人：2万、猿：2万、鹿：2万が島には生息しているという。島は世界遺産として登録されているため、一切のものを島外に持ち出すことはできない。ただし土産品は除く。続いて大川の滝を見学。落差が100メートル近くありその迫力は満点。この日の宿は普通の宿だった。

最終日、いよいよ紀元杉を見に行く。バスは山道をくねくねと登っていく。途中猿に出会う。日本猿だが身体は小ぶりだ。車を怖がるそぶりは無い。バスの終点についた。屋久杉ランドだ。ここで鹿に出会った。鹿も小ぶりだ。屋久杉ランドで1時間の森林浴。整備された遊歩道沿いに伐採された屋久杉の切り株から新たな杉が育っている。切り株更新というそうだ。屋久島はマグマが海底からせり上がってできた島なので、表土がほとんど無い。そのやせた土地にしたたかに生きる屋久杉、そのため切り株や倒木を利用して木々が育っているのだ。直径2メートル以上の木々を見ながらの森林浴は最高だ。あっという間に1時間が過ぎてしまった。いよいよ目当ての紀元杉を見に行く。紀元杉その名のごとく樹齢2600年を越える。幹周りは16メートルを超える。高さはさほど高くなく10数メートルだ。種々の木が寄生している。一見の価値がある見事な木であった。



速飯で思うこと

衣笠病院 千葉 一



速飯、と言っても或る時間前（或る時間というのは、これは私の場合だが、朝飯は六時半、昼飯は十二時、夕飯は外で飲んで帰らなければ六時）に飯を食うことではない。速食いのことである。

東京12チャンネルのテレビチャンピオン速食王選手権のようなスピードを競う訳ではないが、兎に角飯を食うのが速い。

次々と口の中に食べ物を放り込まないと食った気がしないのだ。当然熱い味噌汁だってヘッチャラ。断じて猫舌ではない。

*

我が家の飼い犬、ガン太も食うのは速い。それは、流石の私でも速く及ばない。

どんな犬でもそうだが、彼の好物の肉をやっても、

「ハグ♪ ングッ♪♪」

これで終了。人のことは言えないが犬だから言ってもいい。少しは味を噛みしめろ！何あろう、お肉様だぞ！

熱い味噌汁をやったことはないが、奴も猫舌ではないかも。犬だし。

*

訊くところによると、南病院長も速食らしい。経理課長の山本英夫さんも速いということを知ったことがある。あっという間に終わってしまうという。

私、ガン太、南先生、ヒデさん。何処にも共通点が無いように思うのだが。

南先生とヒデさんは昼食のスパゲッティを見事に早食いするらしい。ナポリタンでもペペロンチーノでもカルボナーラでも一緒なのだろうか。

*

蕎麦通に言わせると蕎麦は咬んで食ってはいけないのだそうだ。汁に一寸つけたら、ズズッと音を立てて飲み込むべし。蕎麦が伸びないうちに一気に胃袋に流し込んで平らげる。

しかし、矢張り咬まないと味が分からないのではないか。第一あの細長い麺をどうやって飲み込むのだ。

それにズズッと音を立てるのがどうも。第一眼鏡やシャツに汁が飛び散ってしまう。

最近食べた蕎麦では、山形の、店の名は忘れたが、板蕎麦が美味しかった。

*

まさかとは思いますが、南先生やヒデさんはスパゲッティを蕎麦のように咬まずに飲み込んでいるから速いのではないだろうか。なあって、よけいな心配か。

「友がみな吾より偉く見ゆる日よ」って、負け惜しみを言っただけだ。

*

細長いといえ、たとえ胃ガンになったって、胃カメラは死んでも飲まないと思っていたのだが、内科の曾根先生にやってもらったら全く平気だった。これからはバリウムは止めて内視鏡にしよう。

*

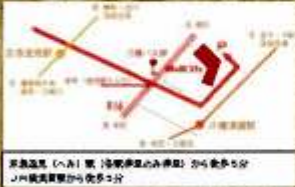

「人生は短い。あっという間に過ぎてゆく。しかし、いま目の前にいる電車でどうしても乗らなければならないというほどには短くない。」(少年達よ、未来は～山口瞳)

速飯をしなければいけないほど人生を急がなくてもよいという先人の教えだ。ガン太よ、これからは何でもチョイとゆっくり食ってみようか。

神奈川県看護協会横須賀支部
神奈川県臨床衛生検査技師会横須賀三浦支子地区
横須賀三浦放射線技師会

合同勉強会
「緊急被ばく医療と
放射線について」

日時 2003年11月21日(金)
18:30~20:00
会場 ウェルシティ5階大学習室
会費 1000円



本会会費(年会)等(参加費)のみ参加) 約40分
JRA横須賀駅から徒歩5分

横須賀三浦放射線技師会

夏休み旅行記②

東南アジア旅行記

横須賀市立市民病院 橋爪由美子

日本は島国です。だから、日本から海外に行くと、国境はいつの間にか飛行機の中で越えてしまっています。「国境を歩いて越えよう」それが今回の旅行の目的でした。タイ、カンボジア、ベトナムの3カ国をまわり、国境を自分の足で越えて来ました。



旅の始まりはタイからでした。タイは去年の夏、初海外旅行で観光地はまわっていたので、観光らしい観光はあまりしませんでした（笑）。

タイからカンボジアへの移動は電車とピックアップトラックを使いました。電車でタイ国境まで行き、国境を越えた後はトラックでアンコールワット観光拠点の街、シェムリアップへ向かいます。途中からは舗装された道路がなく、でこぼこ道でした。日本の道がどんなにキレイか思い知らされます。。

世界遺産のアンコールワットやバイヨンも自分の目で見る事ができました。アンコールワットでのサンライズはかなり感動。気球に乗ってアンコールワットを上空から見るともできました。

シェムリアップからカンボジアの首都プノンペンまでは水上ボートで移動しました。プノンペンではキリングフィールドなど、ポル・ポト政権時代の悲惨な体験を今に伝えるものをたくさん見てきました。怖い時代があったものです・・・。

旅行日程	
2003/9/26	日本→タイ（バンコク）
9/27	バンコク市内観光
9/28	タイ→カンボジア（シェムリアップ）
9/29	アンコールワット群観光
9/30	シェムリアップ市内観光
10/1	シェムリアップ→プノンペン（半日観光）
10/2	カンボジア→ベトナム（ホーチミン）
10/3	ホーチミン市内観光
10/4	クチトンネルツアー&ホーチミン出発（夜）
10/5	日本に帰国（朝）



タイ→カンボジア国境



ピックアップトラック

カンボジアからベトナムへはバスで移動しました。もちろん国境は自分の足で越えます。ベトナムの道は舗装されていて、でこぼこはありませんでした。快適。

ホーチミンではフランスの植民地時代に建てられた欧風の建物をたくさん見ました。有名なシクロに乗ってホーチミンの街をまわるととても風情があります。それとクチトンネル。ベトナム戦争のときに作られたトンネルで、中に入ることもできました。また、そこでは銃を撃つこともできます。思ったより音が大きくて、間近で聞いて悲鳴をあげてしまいました（笑）

往復の航空券だけ買って出発した旅行だったので、ツアーとは違う楽しさがありました。みなさんもぜひ一度国境を自分の足で越えてみてください。飛行機ではわからない感動がきっとありますよ！



←バイヨン



↑アンコールワットの夜明け

↓気球から見たアンコールワット



施設紹介①

リニューアルオープン

浦賀病院 杉本光洋



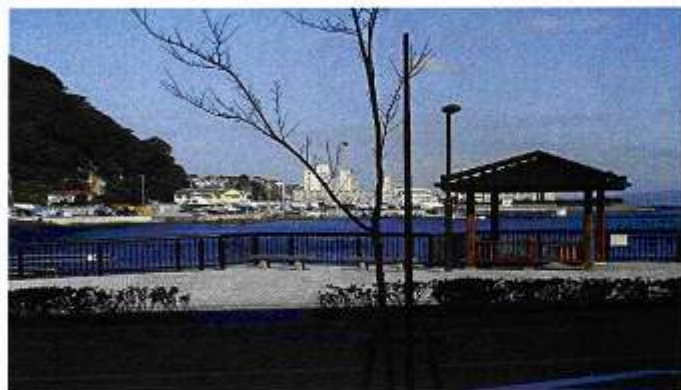
(病院玄関)



当院の歴史と施設・抱負などを少々ですが私、杉本がご紹介いたします。

病院はその前身の浦賀船渠・診療所が大正元年に診療を開始して以来約1世紀の歴史を有しています。その歴史は、浦賀の地域医療の歴史でもあります。設立当初から、企業の福利厚生施設であると同時に地域医療の担い手として重要な役割を果たしてまいりました。又、平成10年には地域のニーズにより、横須賀市で初めての療養型病床を開設いたしました。現在この病床は39床となり、ケアミックス病院（急性期医療と慢性期医療の両方に対応）として地域の高齢化対策にも貢献致しております。

新病院は鉄筋コンクリート造4階建・駐車場64台・駐輪場約30台、診療科目も眼科が増え、病床数も一般病床60床 療養病床39床合わせて99床になります。健康保険組合の医療機関ではありますが、現在ではご利用される方の9割以上が地域の患者様で、まさに地域に密着している病院と申せましょう。



(外来待合室からの風景)

モットーは「はやく・やさしく・せいかくに」患者様の立場に立って、信頼され、満足して頂ける「浦賀病院」を目指しています。

それではお待たせを致しました我が放射線科最新の医療機器を簡単にご紹介を致します。

まずはMRI装置の紹介です。



(1.0T)

機器装置 東芝製 EXCELART (Pianissimo) MRT-1000/L2 型



次にCT装置のご紹介を。前装置はシングルヘリカルでしたが、今回導入されたCTは4列のマルチです。(0.75sec) 機器装置 東芝製 Astelion TSX-021A

DR付きのX-TV装置と一般撮影装置・マンモ装置、コニカCR装置、それにドライの紹介を致します。今までDRなんて使ったことが無い、見たことも無い、そんな装置なのです。



機器装置 東芝製 Winscope 6000 精密検査対応多目的X線装置システム
導入後、4ヶ月検査内容も幅広く今まで消化してきた検査件数は330件にもなります。



Mammorex

機器装置 東芝製 KXO-50RW ・乳房用X線撮影装置 MGU-100B
最後になりましたが Konika DRYPRO752 が二台 CR 専用ドライ MRI・CT 兼用に



各々接続されております。

使い勝手など使いやすさなど考慮した配置にしています。

DSA 付き TV・MCT は旧病院の装置の操作と違うのと一気に New 装置に変わった戸惑い、MRI 導入もあり操作を覚えるのに技師長はじめ技師は悪戦苦闘する毎日を過ごしています。(最近は少し落ち着いてきたかな) また、来年度からはオーダリングシステムなどの導入予定でまたまた頭の痛い～毎日そんな今日この頃です～。

以上

平成15年度 横須賀市原子力総合防災訓練に参加して

横須賀市立市民病院 須藤 敏

10月29日晴れ、ラジオは今日の最高気温を26度と報じていた。

8時15分に病院に集合し、私、柳沢副会長、看護師長、放射線科医師の4名は運転手付のセレナで、北体育館に向け出発。

途中、逗葉自動車道出口付近より国道16号線信号まで渋滞。北体育館に到着は、9時30分を過ぎていました。

急いで、2階館内に入ると、正面に大きく「横須賀市原子力総合防災訓練」の文字。気合が入っていると思いながら、今年は県警の先導によるヨウ素の搬送、小学校の屋内退避訓練、一般市民のサーベランス等で、参加人数は1000人を超える規模と聞いたのを思い出しました。

体育館には、すでに共済病院沼田技師、共済病院大石技師、北部共済濱田技師の3名が揃っていました。時間が迫っているため、急いで私たちはタイベックスーツに

着替えました。更衣室は熱気で暑く、消防職員は防災服の上からタイベックスーツを着るため、汗だくでした。私は、昨年参加した中島技師に、着替えを持っていったほうがよいと助言され、カテ室術衣の上下に着替えた上、タイベックスーツを着ました。放射性物質が入らないよう、靴の上からビニール靴を被せ、ズボンとの隙間をビニールテープでぐるぐる巻きにし、手も同様に、ゴム手袋、ビニール手袋をはめ、スーツとの隙間をテープでぐるぐる巻きにしたため、はじまる前からもうムレムレ。

訓練開始の10時には40名の住民、報道記者等、多くのギャラリーが勢ぞろいしていました。私たち黄色のタイベックスーツはいやでも目立ちます。担当者の挨拶ののち、責任者より「BGを測定してください」といわれ、はじめて使うサーベイメーターの操作に戸惑いながらも、住民のサーベランスを開始しました。住民の視線、報道記者の視線に緊張しながら、最初の住民のサーベランスを行いました。2人目を測定し、そういえば最初の方は靴の裏の測定を忘れた...と考えて。横の技師の測定を真似しながら、10名ほどの測定が終わったのは30分ごろでした。ほっとしたのもつかの間、○日新聞の記者が副会長に質問、副会長は「実際の測定者のほうがわかるから...とうまくかわす」。え、ちょっと待って...

記者「今回の測定はどのような放射性物質を想定しておこなったのですか？」

私 「えーと、(そういえば、ヨウ素剤の搬送訓練をしていたな、骨に集積するのは...と考えて)「原子力事故の場合、ヨウ素、ストロンチウム、セシウム等の物質が放出されます。それらに汚染されていないかを測定しました。」

記者「では、どれくらいの値なら異常といえるのですか？」

私 「えーと、(2倍では少ないし、10倍くらいかな?と考えて) 「普段の値の50倍から100倍くらいの値です。」

記者「汚染していた場合は、どうするのですか？」

私 「えーと、衣服を脱いで、シャワーを浴びてもらい、再び測定します。」

記者「ありがとうございました。」

やっと、開放されたときには、緊張と暑さで、髪の毛は頭皮にべったり、手袋の先端は汗が溜まって、きもちわるい。

タイベックスーツを脱ぎながら、沼田技師が「去年は夏の訓練でこんなものじゃなかった」というのを聞いて、でも来年はパンツの着替えをもってこようと思いました。

最後に、市長の挨拶で協力機関に横須賀三浦放射線技師会の名前を聞いて、この汗が報われた感じを受けました。

帰りは、当院の送迎車にて、昼ごろ市民病院に到着しました。来年は違う技師に経験させようと思ったのでした。

施設紹介②

マルチスライス CT が導入されて 1 年

-準超高速撮像機を猛スピードで運転する意味-

横須賀共済病院 斉藤弘義

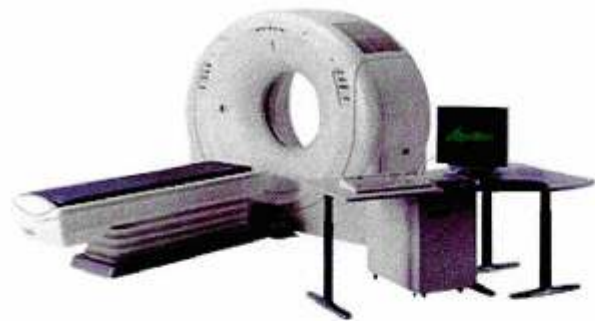
以前のCT室は、シングルヘリカルCT 2台、シングルスライスCT 1台で稼働していました。しかし、予約件数の増加に加え、救急及び在院日数の短縮による予約外検査等も増加し、従来の設備では対応が難しくなっていました。そこへ、平成 14 年 8 月、約 10 日間の工期を経て多列検出器を搭載した東芝製マルチスライスCT Aquilion が導入されました。当初、8列だった検出器は、翌年2月に16列にバージョンアップされ現在フル稼働しています。

マルチスライスCTの特徴は、準超高速撮像です。例えば、胸部撮影でヘリカルピッチ23、収集スライス厚2mmを使用した場合、撮影時間は4.2秒、上腹～下腹部撮影は5.5秒と、驚くほどの速さで撮影されます。撮像時間の著しい短縮、より広範囲の撮像が可能になり、より高分解能の画像を得ることが可能になったのです。またリアルタイムフルオ（CT透視）を使用した肺生検・マキック等に要していた時間が、今までより大幅に短縮され、患者さんの苦痛を軽減するのに役立っています。そして、この機械の導入による一番の効果は胸部ルテイン検査後に病変が見つかった場合、再検査を受けることなく必要な条件の画像イメージを生データ（生データ残存期間2～3日）から画像再構成できます。

現在は、CT担当技師4人でマルチスライスCT 1台、シングルヘリカルCT 2台を稼働させ、1日の患者件数は100件程度（造影検査は約25件）撮影しています。病院環境の整備として、更衣室の増設や平成15年5月オダリングシステムの導入などにより、撮影の流れはスムーズになりました。また、予約待ちの期間は、今では1週間待たないで行えるようになっています。

スキャン時間の短縮は安静を保つことが困難な小児、重傷の外傷患者、呼吸停止が困難な症例など、これまでCTの適応となり得なかった症例に対しても、積極的にCTが行われる可能性をもたらしたといえます。また骨折症例に対して、マルチスライスCTがルテイン検査として行われたり、CTAがMRAの多くを置換する可能性もあります。ハピピッチ撮像を行えば被ばく量を軽減できるので、単純エックス線撮影に近いスクリーニング用として使われていく可能性さえあると思っています。これまで、長年の夢として追求してきた、完全な人体の内部構造を人体を損なうことなくまなく観察したい願望は、0.5mmマルチスライスCTによる等方性がリアルデータによってひとまず叶えられました。今後CT診断に新たな展開をもたらすことは確実でしょう。

さて、機種選定に際しては、車にたとえるならまさにアメ車、日本車、欧州車かと、その性能に決めがたいものもありましたが、何はともあれ最高級日本車に決まりました。さあこれから楽しいドライブかな～・・・などとのんきに思ったのは大きな間違い、今では長距離トラックの運転手のように毎日ガソリン満タンで走れ・走れと追われる毎日です。この高級車、実はまだまだ多くの仕掛け（座席が飛び出したりして）があるのですが、忙しさの中でフル活用させきれていないのが現実です。時速何百キロで走る車は魅力的ですが、毎日このスピードだとさすがに疲れます。撮影件数の増加に伴う日常業務の煩雑さの中で、運転手としては、装備を楽しみながらたまにはゆっくり走りたいなど、こんな歌は不謹慎かもしれませんが、“のんびり行こうよ俺たちは、焦ってみたあーって無駄なこと”こんな歌でも口ずさみながら日々の仕事に追われています。文明の進歩と共存するおやじのつぶやきは、撮影終了後にホットする患者さんたちの笑顔に打ち消され、今日も準超高速撮像機を猛スピードで運転しています。



Aquilion16

- Milestones of Toshiba helical CT
- Detector Technology
- Reconstruction Technology
- Isotropic Voxel Imaging
- Clinical Images

Aquilion



被ばく医療対策検討会報告

- 日時 平成15年5月19日(月)
場所 横須賀市医師会
議題 ①被ばく医療マニュアルについて
②5/14被ばく研修会報告
横須賀市教育研究所(横須賀市立南部図書館2階)にて青木芳朗氏(原子力安全協会 放射線災害医療研究所 所長)による横須賀市立小・中・高・ろう学校の防災担当者を対象とした「被ばく研修会」を横須賀市医師会主催で開催。
③その他
- 日時 平成15年6月16日(月)
場所 横須賀市医師会
議題 ①被ばく医療マニュアルの原稿確認について
②その他
- 日時 平成15年7月16日(水)
場所 横須賀市医師会
議題 ①被ばく医療マニュアルの原稿チェックについて
②マニュアルの医師会ホームページの掲載についての検討
③その他
- 1) 平成15年 横須賀市原子力防災訓練(原子力艦)について
日時 平成15年10月29日(水) 9時~12時
場所 市災害対策本部室、環境部小川町分室、田浦行政センター北体育館。
 - 2) 学校における原子力防災マニュアル作成につて(案)
 - 3) 原子力防災災害対策計画編 ダイジェスト版の配布
 - 4) 横須賀市医師会主催の被ばく訓練の開催について
日時 平成15年11月1日(土) 予定

日時 平成15年9月12(金) 19:30～
場所 横須賀市医師会館
議題 ①被ばく医療マニュアル作成のチェック
②平成15年度横須賀市原子力防災訓練について
日時 平成15年10月29日(水)
場所 市災害対策本部室、環境部小川町分室、田浦行政センター、北体育館。
想定 原子力艦船の火災事故。住民の避難訓練等。
横須賀三浦放射線技師会＝避難住民のサーベランス。
一次指定病院(横須賀共済病院、市民病院)からのスタッフ派遣。

日時 平成15年10月16(木) 19:30～
場所 横須賀市医師会館
議題 ①平成15年度横須賀市医師会災害訓練について
日時 平成15年11月1日(土) 14:00～17:00
場所 医師会館
内容 1) 横須賀市内原子力施設において原子力災害が発生した想定での机上訓練。
(災害発生場所の特定は政治的、信用問題等の理由で明確化できない。)
2) 横須賀市消防局の装備品展示
3) 講演(原子力災害の事例 放医研 近藤久禎氏)
②平成15年度横須賀市原子力防災訓練について
日時 平成15年10月29日(水)
場所 市災害対策本部室、環境部小川町分室、田浦行政センター、北体育館。
想定 横須賀基地内のモニタリングポストで異常値を観測(原子力艦船火災事故の想定については米軍の許可が得られなかった。)
住民の避難訓練等。
横須賀三浦放射線技師会＝避難住民のサーベランス
小学生児童を含め1400名位の住民参加。
米海軍の参加。
一次指定病院(横須賀共済病院、市民病院)からのスタッフ派遣。

平成15年度横須賀市医師会災害救護訓練について

日時	平成15年11月4(土) 14:00~17:00
場所	横須賀市医師会館
内容	<p>①講演 原子力災害の事例 原子力災害時の応急救護所の役割について 講師 放射線医学研究所 近藤 久禎先生</p> <p>②サーベイメーターの取り扱い 参加者を6班(A~F班)に分けて γ線用シンチレーションサーベイレーターおよび α線用サーベイレーターの取り扱い。 放射線管理士部会(神奈川、東京)による説明指導</p> <p>③机上訓練 6班(A~F班)に分かれての机上訓練。 1) 応急救護所において必要な資機材のリストアップを各班ごとにまとめて発表。 例:線量計、除染キット、トリアージタック、通信機器等 2) 各班にて横須賀市内の小中学校の校舎の見取り図や周辺地図を参考に応急救護所におけるサーベランス実施に向けたレイアウト(登録所、一次検査、除染、二次検査、健康相談所等)図の作成。 2) 作成したレイアウト図を各班ごとに発表。 各班とも設定された学校が異なるためにレイアウト図は異なったものとなり、面白い結果が見られました。今後の訓練や実践で大いに参考になる取り組みの一つでした。</p> <p>④横須賀市消防局の装備品展示。 線量計等</p>

地区委員会報告

相ヶ瀬あゆ子



7月理事会（7月24日）報告

【報告事項】

1. 会長報告

- ・医専連理事会報告（7/3）
- ・新任会長会（7/4）
日放技：新任会長を集め、事業の説明と意見交換を行った。
- ・認定試験（7/6）
日放技：本年度第1回認定試験が、山梨・長野・茨城県で開催された。
- ・日本病院学会実行委員会（7/8）
- ・JIS基準委員会（7/15）
厚生労働省推薦で、第1回目の委員会に出席した。
- ・ACRTワークショップミーティング（7/18）
第14回ACRTはバンコク開催
- ・原子力災害活動協議会（7/19）
- ・ゴルフ大会（7/21）
第20回ゴルフ大会が40名参加で開催された。（嵐の中でした）

2. 各委員会報告

2-1庶務委員会

新入会員16名、退会会員2名、再入会1名、転入0名 会員数 1525名（7/23）

2-2学術委員会

- ・県職員の交通費（講習会）確認した。
- 放射線関連機器管理責任者・放射線管理士認定講習会の開催許可

2-3編集委員会

- ・会誌185号の編集作業
- ・会誌186号の発行予定9月29日

2-4厚生・社会福祉委員会

- ・施設調査の発送準備に入った。

2-5保健委員会

- ・横浜市救急医療センター、CR化進捗状況の報告
9月恒例の研修会：川崎と合同で10月1日に行う。
- ・川崎北部小児急病センター
勤務の確認（出勤簿等）、研修会：横浜市と合同、レクリエーションの日程
- ・ゴルフコンペ：平成15年7月21日（祝）40名参加があった
川崎小児急病センター
- ・執務者に「勤務連絡」の大切さをアナウンスする。（連絡取れないことがあった）

2-7組織委員会

- ・一万人ウォーク協力依頼

- ・胸部画像研修会の協力依頼
- ・厚生委員会・社会福祉委員会より施設調査依頼

2-8IT委員会

- ・定例会：DBを3種類のカテゴリに分けて管理する。

【審議事項】

3-1日放技事業への対応

- ・日放技から生涯学習セミナー「看護学講習会」のプログラムの案内がきた。
- ・アドバンス技師資格に関する基礎資格の特例期間の延長について平成17年度迄延びました。
- ・次回のACRTを日本で開催したいが、ISRRTが1年延期され2005年2月に香港開催となるため、ACRTを2004年10月に開催することは日程的に難しい。
- ・レントゲン週間の企画が進んでいる
- ・日本消化管画像研究会と日本医療画像管理学会の二つの学会が承認された。

3-2 講習会

県職の講師には謝礼がでないため、がんセンター胸部内科の山田先生には10,000円の交通費を技師会で負担。

3-3 認定講習会

現在申込者146名

3-4 日本病院学会

- ・プログラム案

特別講演 安部四郎先生（県立福祉大学の学長） 「医療における愛」

ハヒラヒロシ先生「高齢者医療の現状と将来」

シンポジウム「日本の病院医療を考える」「病院経営意思決定の評価」

「医療制度改革をめざすもの」「ロボットの臨床応用の現状と将来」

日野原先生の演題は未定で、文化講演は平山郁夫先生「人類と文化遺産」、

3-5 その他

- ・胸部画像評価研修会（専門）を平成16年1月17日、横浜市健康福祉センター4階ホールで、胸部デジタル・被ばく関連の内容で企画している。また胸部画像評価研修会（基礎）は未定。

8月の理事会報告（8/28）

【報告事項】

1 会長報告

- ・第14回ACRT（バンコク）に参加
- 第15回ACRTは日本で2005年に開催することが決定。
- ・国際選挙の推薦は党派を問わず早いもの順とする。

2 各委員会報告

2-1総務委員会

新入会員6名、退会会員1名、転出3名、転入3名 会員数 1530名（8/26）承認

2-2渉外

- ・平成15年度すこやかかながわ万人健康ウォーク
- ・開催日：平成15年11月15日（土）赤レンガパーク 雨天決行
川崎地区技師会、協力依頼
管理士部会に連絡し、企画等を検討中である

2-3 学術委員会

- ・平成15年度神奈川県診療放射線技術講習会
午前の受講者 313名 午後284名
- ・認定講習会の準備 申込者 207名
- ・胸部画像評価研修会（専門）
平成16年1月17日（土）13：00～17：00 場所社会福祉センター

2-4 編集委員会

- ・会誌184号の反省
- ・会誌185号発行日と原稿締切日の確認
- ・再版予定書「医療の中の放射線」の企画

2-5 厚生・社会福祉委員

- ・少人数勤務技師の実態調査報告について
- ・拠出型企業年金保険制度 廃止決定。住友から本人に通知する

2-6 保健委員会

- ・女性技師の就職状況改善の推進（アンケート調査要約）

2-7 保健委員会

- ・厚生保健合同委員会を開催8月6日
- ・横浜市救急医療センター CR化
- ・合同研修会・連絡会 10/2健康福祉センターで開催

2-8 IT委員会

- ・データベース作業進行中
- ・JART会員データベース構築委員会

【審議事項】

3-1

- ・会員・会費制度見直し
12月をメドに日放技の規定変更を検討している
- ・レントゲン週間
各県で対応していく。

東京タワーのライトアップ（金額が高く、次回検討する）

お台場で、①3D画像を体験してもらう

②レントゲン博士はどうやってX線を発見したか（慈恵の先生のVTRを見てもらう）

③ミニコンサート

3-2

その他

- ・大阪学術大会 神奈川県は演題13題（全体の5%である）
- ・第54回日本病院学会
7月3日ワークショップ

福利厚生部 ゴルフコンペ報告

6月29日（日）、千葉県にある総丘カントリークラブにて開催しました。
参加人数21名。早朝からの雨は東京湾を渡りきるあたりからあがり、晴天の一日を過ごすことができました。
参加していただいた会員、賛助会員の皆様ありがとうございました。
順位は下記のとおりです。

優勝	横須賀北部共済病院泌尿器科医師	益子氏
準優勝	横須賀三浦放射線技師会会長	千葉氏
3位	横須賀三浦放射線技師会副会長	服部氏



第 1 回 C R 勉強会の報告

世話人 男鹿 真幸
日時 2003年9月25日 18時30分～20時
会場 浦賀病院

当日、小雨の降る中にも関わらず 当初予定していた参加人数を大幅に上回る参加者にうれしくも驚きました。

第 1 回開催の目的

各施設の胸部写真を持ち寄って、良い C R 画像をつくるための意見交換。
(同じ C R 写真でなんでこんなに違うの? どうして～。 どうなってるの。) パラメーターを知る。

適正撮影条件を探る (L 値: S 値: 電圧: フィルター: S 値での被曝線量評価: e t c など) については、持ちよりの胸部写真で、技師側の質問、要求、に対してメーカー側の意見やアドバイスがあり、大変充実した時間を過ごせたのではないかとおもいます。

会発足にあたり決定事項

名称	C R 勉強会とする。
開催予定	年 3 ～ 4 回とする
参加費	1 回につき 5 0 0 円とする

尚 会場は各施設持ちまわりとし、その際 世話人を 1 人お願いします。

次回、開催予定は、翌年 1 月頃横須賀市立市民病院で行います。

学術部活動報告

1：3会（横須賀市 看護協会・検査技師会・放射線技師会）合同勉強会

*学術部中心に組織したプロジェクトチーム（人選は会長推薦にて）を発足。

*これまでに数回の会議を重ね、以下の開催を行うことに決定。

*講演内容の基本路線は、緊急被ばく医療、そのために放射線の知識、医療の他の画像との比較によって、放射線画像を理解していただく。

①日時 11月21日（金） 18：30～20：00

②場所 ウェルシティ5階大学習室

③タイトル 緊急被ばく医療と放射線について

④講師 沼田恭一（放射線管理士、横須賀共済病院放射線科）

⑤会費 1000円

2：第93回研究会

①日時 11月8日（土） 15：00～

②場所 横須賀共済病院5階講堂

③演題 「マルチCTであれば分かったであろう症例？」

衣笠病院 松村高宏

「新しい心カテ装置」 横須賀共済病院 相が瀬あゆ子

「超音波骨評価装置 AOS-100 と DXA 法による踵骨・腰椎の骨密度測定値の検討～健康管理センター、平成14年度のデータより～」

横浜南共済病院 高崎正勝

<教育講演>

「放射線ホルミシス理論」 横須賀共済病院放射線科部長 藤田安彦

3：第14回横須賀三浦・横浜南部放射線技師会合同勉強会の企画

*会員諸氏へは演題応募へのご協力をお願いいたします。

①日時 平成16年1月31日（土） 15：00～

②場所 横須賀共済病院5階講堂

③横浜南部地区へは3題のエントリーを要請

学術部活動報告

濱田順爾

第92回研究会

期日 2003年7月5日(土)

場所 横須賀共済病院講堂

時間 15:00～



プログラム

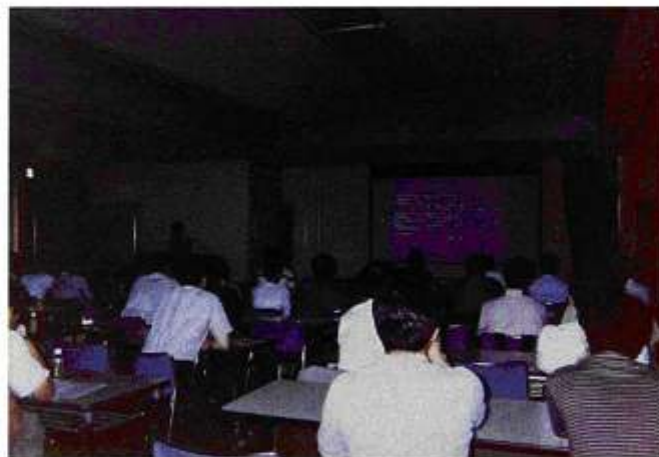
<賛助会員発表>

- ① ヨード系造影剤と副作用について
第一製薬 清田 一雄
- ② 診療報酬と医療連携(都立荏原病院放射線科での取組紹介)
日本シェーリング 高野 明

<会員発表>

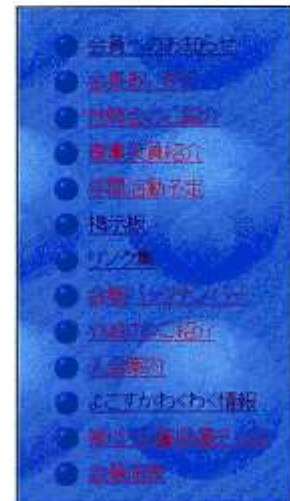
- ③ 当院の統計処理について(オーダーリングシステムを利用して)
横須賀市立市民病院 永田 正樹
- ④ 当院におけるMRCPの現状
横浜南共済病院 狩野 聡
- ⑤ 緊急被ばく医療対策
横須賀共済病院 沼田 恭一
- ⑥ マンモグラフィー施設画像評価を受けるためのQ&A
横須賀共済病院 二田 勇

研究会開催にあたり、演題提出、会場提供ならびに当日会場設定のおりお手伝いいただいた皆様に学術部一同より深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。



YMBIT おもしろい!

横須賀三浦放射線技師会 ホームページのご紹介!



- 行事がわかる「14年度活動予定表」
 - 神奈川県看護協会&神奈川県臨床衛生検査技師会
&全国ほとんどの技師会と相互リンクでさらに充実の「リンク集」
 - 横須賀の観光情報はこれでバッチリ「よこすかわくわく情報」(横須賀市観光課
公認)
- ▲ これは便利!「会員施設案内表」(iモード版も利用可能)



もちろん
J-SKY、EZ-WEBで
OK!



ホームページアドレス
<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/index.html>
メールアドレス
ymbit@internet.email.ne.jp
iモード版アドレス
<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/i/index.html>
YMBITでは、皆さんに楽しんで利用いただける
ホームページをめざしています。

編集後記

今年は、長い長い梅雨で、本格的な暑さが来なかった天候不順の夏でした。エルニーニョ？

とかのせいなのでしょうが、太陽をあまり見られないうちに、夏が終わってしまいました。

やはり盛り上がりのない夏は寂しいものです。

おかげで、お米の出来は不作ということになり、いつもならば、(食欲の秋ですね。毎日のご飯がおいしくて仕方ありません。)とはいかず、

実際は、芸術の秋といきたいところですが、自分には合いそうもないので、スポーツにします。会員の皆様はどんな秋を好まれますか？

今回も、大変お忙しいところ執筆して下さった先生方のおかげで、今年最後の会報を出すことができました。ありがとうございます。

次号の内容を充実させるために、みなさまに“新企画”を募集します。みんながウケるような楽しいアイデアお待ちしております(アイデア賞があるかも！独断で)ヨロシク。

広報担当 高橋 宏之

横須賀三浦放射線技師会報

vol.30 No.2 通算 86号

2003年11月 発行

編集/発行 広 報

印刷/製本 広 報

広報担当 横須賀市立市民病院 宮村 聖也
高橋 宏之
赤松 芳行
畠 山 徹
高久 博樹



横須賀三浦放射線技師会